



消費者の部屋特別展示 「行動しよう！食品ロス削減 に向けて！」を開催しました

【食品ロスについて考えよう】

食育基本法に基づき国が策定した「第4次食育推進基本計画」では、「食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす」ことを目標の一つとしています。

また世界では、多量の食品ロスが発生する一方、人口急増に伴う食料不足や、深刻な飢えや栄養不足で苦しんでいる人達が問題となっています。2015年の国連サミットでは、食品ロスを重要な課題と位置付け、2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させるとの内容を盛り込んだ「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。2019年の沖縄県における一人あたりの家庭系食品ロス量は、全国と比較してやや多い水準となっており、食品ロス削減に積極的に取り組む必要があります。

このような状況を踏まえ、沖縄総合事務局では、6月の食育月間の取組として、6月20日から7月1日まで

の期間、当局1階行政プラザで食育パネル展を開催しました。

【結果とお知らせ】

パネル展では、食品ロスの約半分は家庭から発生していること、日本や沖縄県の食品ロス量の最新データ、家庭でできる食品ロス削減のための取組等を紹介しました。来場者からは、「やつてみようと思う取組があった」、「地域に残る規格外農産物のフードロスについても紹介してほしい」といった感想が寄せられました。

当局ホームページに

おいて、これまでの食育パネル展を紹介していますので、是非ご覧ください。



▲ パネル展の様子

http://www.ogb.go.jp/nousui/syokusan/nousui_syoku_kankei/kako_ibento



お問合せ先
農林水産部 食料産業課

☎098-866-1673



2022年『海の月間』について 「海への理解を深めていただく ための取組を行いました」

四面を海に囲まれている我が国は、輸出入貨物の大部分を海上輸送に頼るなど様々な形で海と深く関わって発展してきました。「海の日」は、このような海の恩恵に感謝し、海を大切にする心を育むことを目的に平成8年に制定されました。この「海の日」の意義を広く理解していただくため、7月を「海の月間」とし、全国各地において多彩な行事が展開されました。

当局においても「海事関係功労者表彰式典」及び「中学生海の絵画コンクール受賞作品の展示」を行いました。

【海事関係功労者表彰式典】

7月26日に那覇市内のホテルにて『令和4年「海の日」海事関係功労者表彰式典』を開催しました。

個人7名、団



▲ 受賞者との記念撮影。後列両端はC to Seaプロジェクトで当地アンバサダー

体2者に対し沖縄総合事務局長表彰の授与を、個人1名に対し国土交通大臣表彰の伝達を行いました。また、「令和4年度第59回中学生海の絵画コンクール」受賞者への表彰も行い、沖縄総合事務局長賞（金賞）受賞の那覇市立金城中学校2年上原みなみさんをはじめ、10名の中学生を表彰しました。

【中学生海の絵画コンクール受賞作品の展示】

8月1日から5日にかけて、当局1階行政情報プラザにおいて、「中学生海の絵画コンクール」受賞作品（10作品）の展示を行いました。



▲ 海の絵画コンクール受賞作品展示

お問合せ先
運輸部 総務運航課

☎098-866-1836